

平成18年度 本部事業計画

【基本方針】

東北新幹線新青森駅開業に向けて

国内経済を見ると、国の行財政改革にも拘わらず、中央では製造業やIT産業が牽引役となり景気回復が堅調に推移している。観光面においても国際観光振興機構がまとめた2005年の年間訪日外客数は673万人と過去最高を記録。また出国日本人数も1,740万と過去2番目を記録している。

しかしながら地方の経済状況は、本県を含め低迷の一途をたどっており、明るい兆しが未だ見えない状況下にある。県内観光産業においても宿泊数、施設利用者数が大きく減少しており、特に冬季間の入り込みが大幅に落ち込み厳しい経営を余儀なくされている。

こうした中、東北新幹線「八戸 - 新青森間」の2010年度末、完成が正式に決定し、市内では石江地区区画整理事業や八甲田トンネル等の基盤整備事業が予定通り進行している。

昨年の12月26日には、新幹線駅舎を含む開業設備の設計に関する国の工事实施計画が認可され、さらに、平成18年度中には、スキームの見直しによる半年以上の前倒しの可能性が出てきたことによって、永年の悲願であった新幹線開業が実感として間近に感じられるようになった。

現在JR東日本では、世界最速となる時速360キロの新車両による試験運転が行われており、実現すれば3時間前後で東京 - 新青森が結ばれることとなる。

当協会では昨年、新幹線効果を最大限に享受すべく、青森市、青森商工

会議所と共同で「新幹線新青森駅開業対策推進会議」を設置し、「開業対策アクションプラン」を取りまとめ、30の事業をリーディングプロジェクトとして位置づけ、今年度から本格的な取り組みを行うべく準備を進めて来た。

なかでも「豊かな青森近海鮮魚のブランド育成・PR事業」「観光事業者、交通事業者に対するホスピタリティの醸成事業」「ねぶた祭関連旅行商品の開発事業」は当協会主管により実施することとなっており、新幹線開業を2010年春に見据え、今年度を3年計画のスタート年と位置づけ、精力的に取り組む事とする。

また、仮称：ねぶたミュージアム検討会議、新青森駅観光案内所検討会議に積極的に参画し、基盤整備の強化に向け活動する。

誘致PR事業については新幹線開業プロモーション事業への参加と、増大する台湾観光客誘致事業を新規事業として実施する。

さらに、「青森ねぶた祭」は青森市の最重要観光資源であることから、内容充実はもちろん新たな指針を策定し更なる飛躍を目指す。

旅行形態は滞在・体験型に大きくシフトしつつあり、浅虫他各支部や浪岡地区との連携強化を図り、温泉、八甲田山、油川や浪岡地区の文化財、農村体験等の観光商品開発を支援する。

「観光産業の振興による地域経済の活性化」は当協会の使命であり、受け入れ態勢の整備充実や魅力ある観光拠点、観光商品の開発に取り組み、地域経済活性化推進のため他産業の先頭に立ち行動する事が必要であり、青森市、青森商工会議所並びに関係団体との連携を一層密にし、効率的な予算執行のもと、会員・役職員一丸となり諸事業に積極的に取り組み「観光地・青森」の構築を目指し行動する事とする。

【重点項目】

(1) 東北新幹線新青森駅開業に向けた諸施策の推進

新幹線新青森駅開業対策推進会議の一員として、アクションプランのリーディングプロジェクトの推進。その中でも「七子八珍」事業は「食の魅力づくり」に向け関係機関との連携協力をはかり、青森近海鮮魚のブランド育成に取り組む。

タクシードライバーの資質向上事業として、観光タクシー勉強会や講習会を開催しマナー向上を図ると共に、関係機関が協力し「マナーチェック機関」を設置しタクシー業界のホスピタリティ向上と業界全体のイメージアップを図る。

(2) 国内外観光客誘致、コンベンション誘致の戦略的な実施

国内向け 東北新幹線新青森駅開業に向けた、観光客誘致キャンペーンの実施

旅行雑誌社、旅行会社を対象としたプレスツアー、ファミツアーの実施

国外向け ソウル市旅行会社への個別セールス活動の実施

台北市旅行会社への個別セールス活動の実施

旅行雑誌社、旅行会社を対象としたプレスツアー、ファミツアーの実施

(3) 青森ねぶた祭への観光客受け入れ対策事業の強化

祭健全化により祭主催三団体、青森警察署、ねぶた運行協議会など関係機関と連携強化しカラス族一掃を図る。

ねぶた祭検討特別委員会による「青森ねぶた祭の今後の在り方」の指針策定。

ねぶた観覧席受入対策強化及び観覧席全体の資質向上に取り組む。

【実施事業】

(1) 国内観光客誘致事業

東北新幹線新青森駅開業に向けて観光キャンペーンを展開する。

首都圏・7月、11月

北東北デストネーションキャンペーン販売促進会議に出席し青森市を積極的に売り出し、新幹線開業前年の「平成19年北東北デストネーションキャンペーン」に結び付ける。

岩手県・9月

旅行雑誌等観光関連マスコミ関係者、旅行会社企画担当者を招聘し、青森市の情報を提供して積極的な報道と旅行商品造成を要請する。

9月に札幌で開催される「地域伝統芸能全国フェスティバル」に青森ねぶたを派遣し青森市の魅力発信を図る。

(2) 外国人観光客誘致事業

韓国観光客誘致の為、ソウル市内旅行会社への個別セールス活動を積極的に行う。

台湾観光客誘致に向け、台北市内旅行社への個別セールスを行うと共に首都圏にある台湾ランド会社に対しても積極的にセールス活動を行う。(新規)

旅行雑誌等観光関連マスコミ関係者、旅行会社企画担当者を招聘し、青森市の情報を提供して積極的な報道と旅行商品造成を要請する。

岩手県、秋田県の関係機関と協力をし「北東北」を積極的に売り出し、外国人観光客の青森市への宿泊客増加を目指す。

(3) コンベンション誘致事業

新幹線開業を見据え、県内・市内各団体(経済、農業、林業、漁業団体等)及び大学関係者と連携を密にし、コンベンション開催需要の調査を行うと共にコンベンション開催に向け強く働き掛けをする。(新規)

コンベンション誘致に向けた共通認識の醸成並びにネットワーク構築のため、コンベンション開催経験者、予定者、開催支援団体による「学会・大会コンベンション説明会」を開催する。

首都圏などの「あおもり応援隊」会員、「青森市経済懇談会」会員、青森県出身のコンベンション関係者を訪問し誘致PR並びに情報収集を図る。

コンベンション主催者に対し観光パンフレットの提供、歓迎看板の提供、コンgresバックの提供、資料の封入サービス、開催相談の受付などの大会支援を積極的に行う。

(4) 魅力創出事業・受け入れ体制整備事業

新幹線新青森駅開業対策推進会議の一員として、アクションプランでリーディングプロジェクトと位置づけた30項目の中での「食の魅力づくり」に向け関係機関との連携協力をはかり、青森近海鮮魚のブランド育成に取り組む。特に「七子八珍」については、新幹線新青森駅開業を目標に推進体制の再編成を行い、目玉事業を決定し今年度より実施する。また、本市では他にも様々な特産品開発が行われており、これらの団体と連携協調し、青森ブランドの創出を目指し普及PRに努める。

タクシードライバーの資質向上対策として「観光タクシー勉強会」や「接客マナー向上セミナー」を開催する。また関係機関が協力し「タクシードライバーマナーチェック機関」を設置し、マナー向上とタクシー業界全体のイメージアップを目指す。(新規)

青森駅前観光案内所のサービス向上の一環として始めた宿泊案内業務を更に充実させ、より一層のサービス向上に努める。

各支部や浪岡との連携のもと、温泉、八甲田山、地域文化財、農村体験等、青森ならではの観光商品開発を支援する。

観光客・コンベンション参加者にアンケート調査を行い、受け入れ体制改善に資すると共に経済効果を推計し、青森市の観光産業活性化推進の為に基礎資料とする。

青森生姜味噌おでん普及拡大事業及び青森ラーメン協会事業に対する協力・支援を行う。

(5) 広報宣伝・情報提供事業

観光客誘致・コンベンション誘致用の各種パンフレット、市内マップ並びに特典付きパンフレット、飲食店街マップを作成し、内外に広く配布しPRと情報提供の強化を図る。

「青森案内名人」「青森ねぶた祭オフィシャルサイト」など協会が運営するホームページを見直し検討を行い、内容充実に努め新幹線開業を念頭に情報提供の強化を図る。

青森ねぶた祭に対して、市民・観光客から寄せられた苦情、要望について、主催者としての回答をホームページ上で公開し、理解を深める。

携帯電話を活用した解り易い、ねぶた祭情報の提供。

新幹線新青森駅における案内所業務に関して、情報発信を含めたサービス内容検討会議に参加し意見交換を行う。

(6) ねぶた祭諸施策の推進

祭り健全化6年目に当たり、従前にも増し主催三団体（青森市、青森商工会議所、青森観光コンベンション協会）並びに青森警察署、青森ねぶた運行団体協議会との連携強化をしカラス族一掃を図る。

永続的な「青森ねぶた祭」の発展を目指し、「今後のねぶた祭の在り方」について、検討特別委員会を開催し9月まで指針策定を行う。

仮称：ねぶたミュージアム検討会議に積極的に参画し、ねぶた祭の恒久的な発展を目指す。

ラッセランド「ねぶたテント」の全面更新を図り、ねぶた製作環境や観光客受け入れ環境の向上に資する。

増加しつつある、少人数によるねぶた観覧者受け入れ対策の強化と観覧席全体の資質向上対策を図る。及びねぶた関連旅行商品の調査研究。(新規)

(7) 八甲田・十和田ゴールドライン開通フェア事業

4月1日の八甲田・十和田ゴールドライン開通を全国にPRするため、第17回「八甲田ウォーク」を3月29、30、31日の3日間開催する。また、八甲田の魅力PRの一環として「湯めぐり天国スタンプラリー」を実施する。

(8) 青森冬まつり

青森市、青森商工会議所ほか関係機関において設置した「冬まつり検討ワーキング」において、冬季観光客誘致を念頭に期間、開催場所、実施内容等について協議検討し開催する。

(9) 青森春まつり

実行委員会の一員として、合浦公園についてはボンボリ協賛事業について協力実施する。また、野木和公園会場については油川支部との連携を図り実施する。さらに、ゴールデンウィーク期間の青森市中心街イベント「AOMORI春フェスティバル」ねぶた運行について協力し観光客誘致を目指す。